

JCHO 山梨病院 整形外科 臨床指標

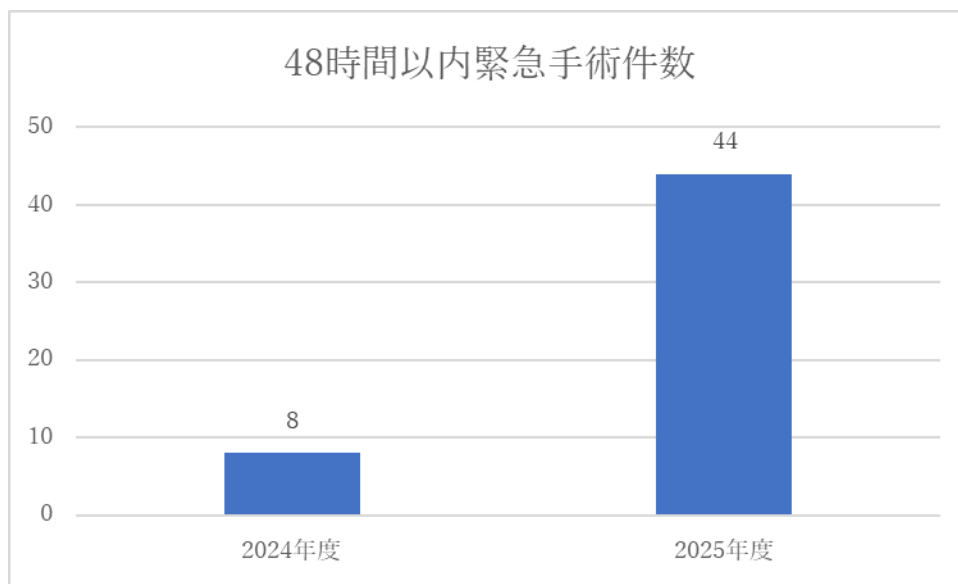
当院整形外科では、高齢化社会で重要な課題となっている骨粗鬆症伴う脆弱性骨折に対し、寝たきりの予防を目的に体系的な診療を行っています。

転倒後に生じやすい大腿骨近位部骨折では、診療ガイドラインが推奨する 48 時間以内の緊急手術に加え、骨折リエゾンサービス（FLS）による二次性骨折予防と継続管理料の適切な算定を推進し、地域医療との連携強化に努めています。

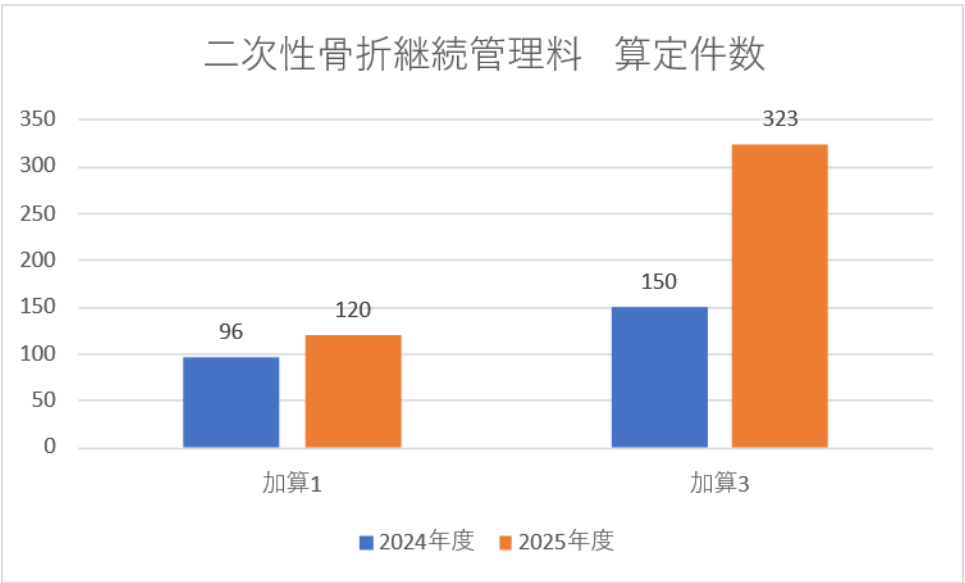
また、骨粗鬆症性椎体骨折、いわゆる圧迫骨折に対しても、早期外科的治療（経皮的椎体形成術：BKP）と早期リハビリ介入により、早期離床、後弯変形の予防、さらには患者の ADL および QOL の低下予防に取り組んでいます。院内クリニカル・パスも運用しています。

<基準項目>

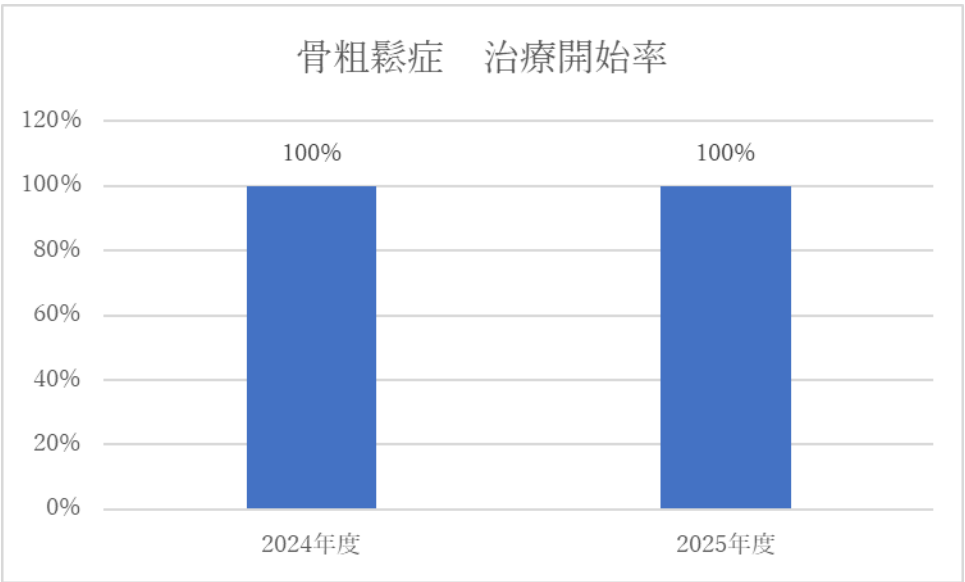
1) 大腿骨近位部骨折の緊急手術件数

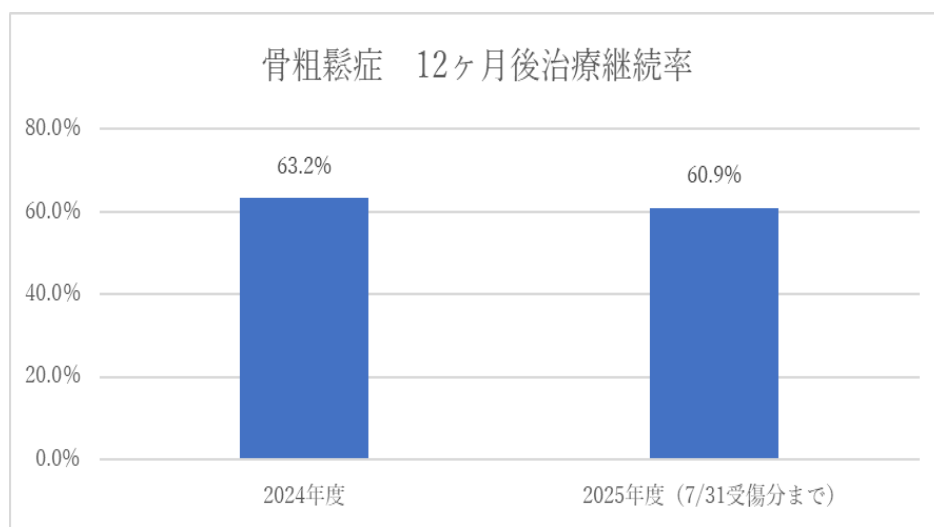


2) 二次性骨折継続管理料の算定件数



3) 骨粗鬆症治療開始率および12ヶ月後治療継続率





4) 早期 BKP 件数

2026 年度より手術実施開始のため過去データなし

2026 年 4 月～7 月：17 件実施